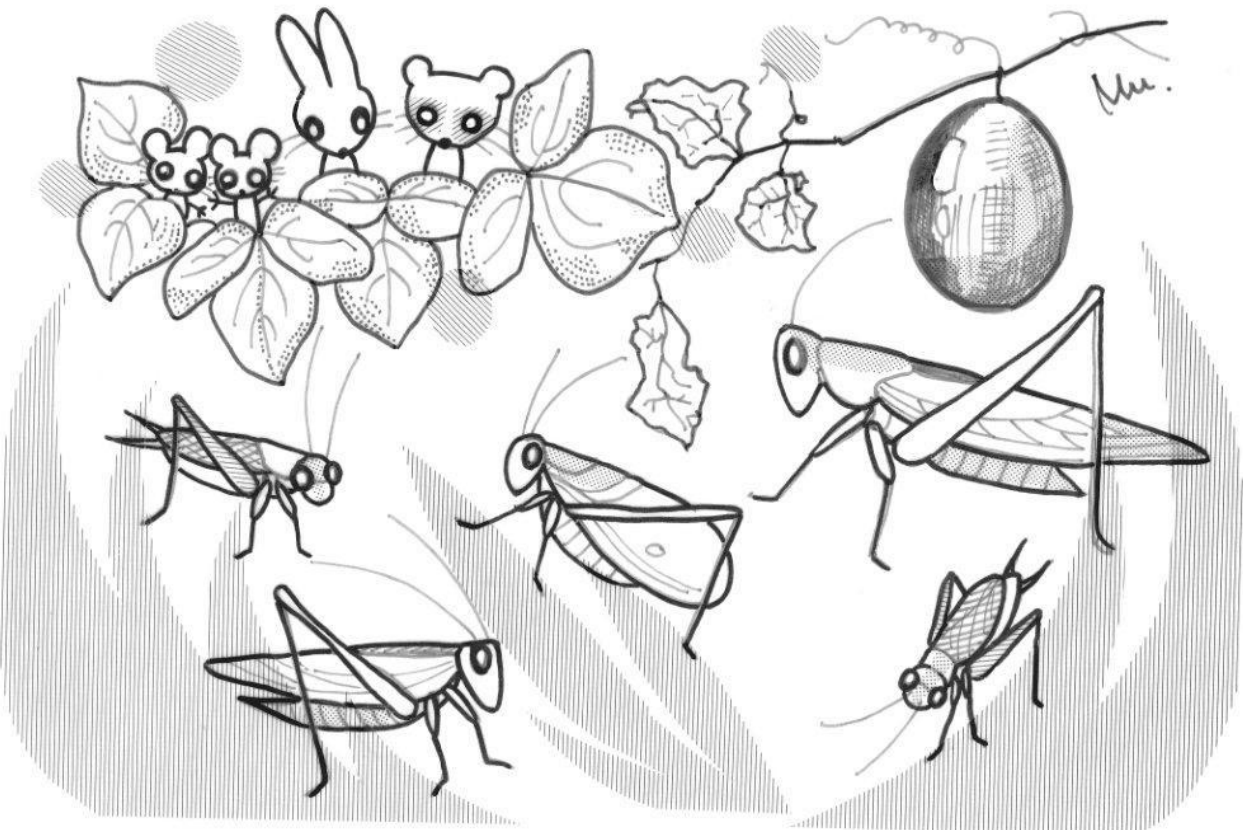




ゴロスケ報々



友の会行事のお知らせ

●森の交流会(望年会)●

昨年同様、友の会会員を対象にした望年会を実施します。日頃なかなか森に来られない方も、この機会にぜひどうぞお越しください。

日 時 12月23日(日) 9時30分~14時00分 ※雨天実施

集合場所 ごろすけ館前(スタッフは9時集合)

対 象 友の会会員

持ち物 お弁当、お椀、お箸、飲み物、コップ、ビニール袋、軍手

実施内容

- ・ゴミ拾いハイカー1年間の感謝の気持ちを込め、園内のゴミ拾いをします。
- ・餅つき大会&豚汁ー自分でついたお餅と、美味しい豚汁を食べながらボランティア仲間との交流の輪を広げましょう。
- ・その他

参加受付 当日、ごろすけ館前で

※詳しくは12月のゴロスケ報々でお知らせします。

担当：事務局

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

事務局からのお知らせ

●9月定例会報告●

H24. 9. 16 (日) 13:00~15:25

出席者 山口、村松(議長)、中里、落合(畑)、平野(KFC)、半田(絵本)、大越(ZFC)、
関根(記録)、森R

1. 行事、各PJの活動報告と予定の確認をしました。
行事予定の変更「森を守る作業体験」(ZFC担当) 11月25日を10月21日に変更します。
 2. ごろすけ館の利用希望のまとめと調整をしました。
 3. 事務局より
 - ①「森のボランティアまつり」の流れを確認しました。
当日に行われる「森を守るボランティア体験」(ZFC担当)とは別の運営とします。
 - ②カレンダーの販売の担当PJを決めました。扱いについての説明が、ごろすけ館倉庫の冷蔵庫の上に掲示してありますので、販売を担当される方はご一読ください。カレンダーは1部1000円です。
 - ③「定点カメラで動物調査」グループの写真展は、11月10日まで延長します。ぜひ御覧ください。
 - ④12月23日(祝)「森の交流会(望年会)」を実施します。内容は昨年同様に考えています。詳細は次号で。
 4. センターより
 - ①工事関係一下記の工事が入ります。ご注意ください。
 - ・森の家駐車場新設工事(バーベキュー場)
 - ・園内各所の草刈り、樹木の伐採
 - ②トランシーバーについて
アンテナの設置が完了しました。野外で活動の際は持参してください。
- 次回の定例会
11月18日(日) 13:00~
センター研修室
※定例会は会員どなたでも参加できます。

炭とロケット

2010年6月、7年と60億キロの長旅を終えた小惑星探査機「はやぶさ」の帰還に私たちは感動しました。このはやぶさを打ち上げたのが、M-V（ミューファイブ）ロケット。このロケット、実は多くの部分がプラスチック製、つまりCFRP（炭素繊維強化プラスチック）製です。繊維がC（炭素）なので、CFRPです。M-V後継のイプシロンロケット（13年初フライト）は、全段（3段式ロケット）CFRP製で、プラスチックがメイン素材となります。これは主にコスト面で有利なのですが、工期の短縮や性能向上面でも見逃せません。

近年、CFRPはロケットだけでなく旅客機や自動車（レーシングカーは30年近く前から）・自転車・ゴルフシャフト等にも採用されています。通常は織ったクロスを樹脂で硬化させ成型しますが、ロケットは少し違います。フィラメントワインディング製法と呼び、筒状の分解可能な金型（かながた）の表面に、樹脂を含浸させた炭素繊維そのもの（糸）をグルグルと巻きつけていきます。それを炉に入れ樹脂を加熱硬化させ、金型を取り外すと中空のCFRP製ロケット部品が出来上がります。後は燃料を詰めて部品を取り付けロケットモーターとして完成です。

炭素繊維はその名の通り、炭素つまり“C（カーボン）”で出来た繊維（ファイバー）です。これはアクリル繊維などを蒸し焼きにして作ります。ですから炭素繊維（カーボンファイバー）は炭素が繊維状に繋がっています。因みに、この繋がり方を変えたものの一つが、宇宙エレベーターを実現させると考えられているカーボンナノチューブです。

勘のよい方はもうお気づきでしょうが、炭素繊維の作り方は炭を作るのとよく似ています。炭は木材や竹材を窯の中に入れて、窯内の酸素濃度をコントロールして、セルロースを蒸し焼きで炭化させます。樹種によってセルロースの構造等が異なり、炭に向き不向きがあります。どの程度炭化させるかも焼き方によって異なります（白炭・黒炭）。炭素繊維も元の糸によって強度や性質が違います。本当によく似ています。

間伐材を昔からのやり方で焼いている炭ですが、実はこの応用が現代の科学や我々の生活を支えているのです。炭作りに情熱を燃やすことは本当に価値があることを肝に銘じておきたいものです。

—この文章には技術科学的見地で、誤りや誤解がある可能性を承知ください—

ロケット屋だった ZFC 関根和彦

友の会活動報告

●みずきの池ハイド前の環境整備！！をしよう 報告●

ハイド前環境整備報告

予定通り9月8日（土）の午前9時から新入会者1名を含め、参加3名でハイド前の環境整備として草刈を実施しました。

残暑の中、鎌を使って手刈りでの厳しい作業でしたが、瀧本レンジャーの応援も得て、約2時間程で無事終了でき、ハイド前の見通しが良くなりました。

カワセミファンクラブ 大浦晴壽

●いつでも、どこでも、身近な自然の案内人講座 報告●

9月1日（土）・2日（日） 「身近な自然の案内人講座」（2日間コース） 参加者 8名
運営：森の案内人・ハンミョウの会 （スタッフ5名）

遠くは愛知県から泊りがけで来られた方や友の会の会員も含めて8人が参加されました。

センターの改修もあって今回は2年ぶりで、横浜市の広報にも載せてもらったので、それを見てという方の他、自然案内に関心のある方が見ている日本自然保護協会（NACS-J）のメーリングリストも効果があったようです。

一日目は自然のメッセージを受け取る練習、二日目は自然のメッセージを伝える練習というのはこれまで通りですが、二日間で講座の時間を3時間増やし、内容も、複数の自然素材を使って一つのテーマを構成するという要素を入れたり、作ったインタープリテーションを実演してふりかえりをした後、それをもう一度見直して再度実演してもらったりと、ややきつい課題をこなしてもらいました。

それでも「予想以上の中身で吸収するのに苦心しましたが、主催者の意図は理解できました」「正に目的にあっていました。期待以上でした。」「素晴らしい経験ができ、感謝致します。満足です。」「これからも来園して学ばせて頂きたいと思います」などと前向きな評価をいただきました。

参加者には、またハンミョウのガイドウォークに顔を出してくださる方もありそうです。

●“森の絵本を読んで話をしよう”を開催しました●

9月19日水曜日

朝から雨模様でしたが参加者は森の絵本づくりの会のメンバー7名でした。

はじめに各自読む絵本を絵本の会で作ったものとセンターの図書コーナーから選んでもらいました。同じ絵本をひとりが2回読み、一回目は自分（読み手）に絵本を向けて読み、二回目は参加者（聞き手）に向けて読む方法をとりました。そして一回目二回目ともに読み手・聞き手が感想を話し合いました。

その結果、一回目はストーリーのある絵本は感情を入れて読みやすく、聞き手はイメージが膨らむようです。また自然案内ふうなストーリーのないものは硬い読み方になり、聞き手は絵をみたくなりました。二回目はストーリーのある絵本もない絵本も絵をみながら指さしたり言葉でヒントをだしたりできて読み手も聞き手もいっそう感情移入して楽しめることがわかりました。また、自然を題材にしている絵本は登場する動物や昆虫などの生き物や植物に会いたくなるネーと話合いました。絵本によって声の出し方や読み方をくふうすることでいろんな楽しみ方ができるんだなーと思いました。

参加できなかったみなさんもぜひ、お好きな絵本をてにとって声にだして読んでみてください。

森の絵本づくりの会 しかま

●<定例活動の報告> 自然と遊ぼう●

8月25日(日) 天気：晴れ 参加者1回目 9人 2回目 2人 スタッフ 3人

夏休みの最終土曜日、今月のテーマは「セミのぬけがらさがし」です。

初めに観察センターのセミの展示をみて、さあ出発。

観察センターから「生態園」を通過して「桜林」への道沿いに、2回目には「ミズスマシの池」まで足を延ばしました。

次々と見つかるぬけがらを見分図と照らし合わせて「なにゼミ」か調べました。大きさ、色、つや、触覚の長さ、しっぽの形などで見分けます。

見つけたのは

「アブアラゼミ」=たくさん

「ツクツクボウシ」=2番目にたくさん

「ミンミンゼミ」=やや少なめ

「ニイニイゼミ」=すこし

の4種でした。

「ヒグラシ」「クマゼミ」は見つかりませんでした。

終わりには「セミのぬけがらさがしま賞」を贈呈して解散。

むらじい

●定点カメラで動物調査●

友の会行事のお知らせ

森の中に設置したカメラは、動物が横切ると自動的にシャッターが下りる仕組みです。夏のフィルムには、セミの羽化直後の姿が写っていました。セミは、ゆっくり木を登り、時間をかけて殻から抜け出し、羽を乾かして、おそらく、2時間以上はカメラの前にいたと思います。でも、写っていたのは、1枚だけ。それまでなぜシャッターが下りなかったのか・・・飛び立つ前の記念写真のようでした(写真はブログに載せましたので、そちらもご覧下さい)。

動物の見分けがつかなくても、1回だけの参加もOKです。活動は5月～12月の毎月第2土曜日の午前中、調査は会員向け、写真チェックは一般向け。雨天の場合には日程を変更する可能性がありますので、当日自然観察センターにご確認ください。汚れても良い、白っぽい服、動きやすい靴で。タオル、水筒持参。着替えもできます。

11/10(土)は今年最後の調査が9時半～、写真のチェックは11時～、12/8(土)は10時～写真のチェックです。

写真展「森のいきものたち：調査用カメラがとらえた動物たちの姿」は、ボランティア活動拠点「ごろすけ館」で、11月10日まで延長開催しています。

●特別講座「子どもたちと森で遊ぶ方法、教えます」●

日程： 2012年11月17日(土) 10時～13時頃

場所： 横浜自然観察の森 自然観察センター他

目的： 自然観察の森にやってくる小さな来園者の心をつかむインタープリテーションを学びます。

内容： 講師として、観察の森に近い侍従川での活動をベースにたくさんの小学校の自然活動の支援やNHKの「モリゾーキッコロ森へ行こうよ」への出演など活躍しておられる山田陽治さんを招き、子どもたちとのガイドウォークを見学した後、そのポイントについて懇談しながら、山田さんのスキルや考え方を伺います。

対象： 友の会の会員に限定

定員： 10名程度

申し込み： 10月のゴロ報発送後、先着で受付

電話：自然観察センター(担当：森初恵レンジャー)

メール：charlieonearth@c3-net.ne.jp 中塚宛

(企画・運営 森の案内人・ハンミョウの会 担当 中塚)

観察センターのとりくみ

いきものを知る守るシリーズ～はらっぱでバッタを調べよう～ を実施しました。小学生とその保護者を対象に、調査体験&伝える環境教育を組み合わせ体験していただくイベントです。

9月22日(土) バッタをテーマに、ノギクの広場・モンキチョウの広場の一定範囲内でバッタを採集し、それぞれの広場にどんな種類のバッタがいるのか調べるイベントを行いました。見つけたバッタ類は検索表を使い見分けて、数をカウントし記録していきます。

調べた結果、ノギクの広場では「クルマバッタモドキ」が、モンキチョウの広場では「オンブバッタ」が一番多く見つかりました。グラフにまとめ、発表をしてもらい伝えることの重要性を体験していただきました。参加した子供達は、「場所により沢山いるバッタが違った」「草の種類や高さが関係しているのでは?」と気づき、バッタがくらしやすい草地はどんな草地なのか、想いをめぐらせる機会になりました。



12月には鳥をテーマにし古巣を調べる調査体験を予定しております。
皆さんからの古巣情報! (どこにどんな形の巣がある) など、情報募集中です!



観察センターからのお知らせ

ただいま、森の自然をゆたかにするための管理作業を実施しています

観察の森は、「いきもののにぎわいのある森」を目指し、取り組みを進めています。現在、かつて人の手によって植えられた園芸植物(八重桜)や外来植物(トウネズミモチ・アキニシ)を伐採し、もともとの自然の状態に戻す取り組みを行なっています。伐採した場所には、これから横浜本来の樹木を育てていく予定です。伐採には、業者「溝口造園(アートグリーン)」が入り進めておりますが、雑木林ファンクラブの皆様にも伐採にご協力いただいております。友の会のみなさまには「にぎわいのある森づくり」を共に進めていく仲間として、ご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いたします。

ぬいぐるみ作家『落合けいこさん』の
ぬいぐるみが登場!

「やまね工房」を主宰している
落合けいこさんのぬいぐるみを自然観
察センター内で展示しています。

「フクロウ」「タヌキ」「ハシブトカラ
ス」「ツバメ」「ノウサギ」の5匹が、
センターのあちらこちらで活躍中。
是非会いにきてくださいね♪



上郷・森の家 横浜自然観察の森 金沢動物園
3施設スタンプラリー

よこはま南の森スタンプラリー

円海山域の3施設で開催されているスタンプラリーが、今年も始まります。
緑地を歩き3つの施設をめぐります。

◆期間：10月6日（土）
～翌年2月28日（木）

◆3つのスタンプがそろると…
各施設のオリジナルグッズ
をプレゼント！
（先着100名です）



金沢動物園⇄上郷・森の家 横浜自然観察の森
期間限定企画

シャトルバスが運行します！

無料

金沢動物園と上郷・森の家、横浜自然観察の森を結ぶ無料のシャトルバスの運行が決まりました。

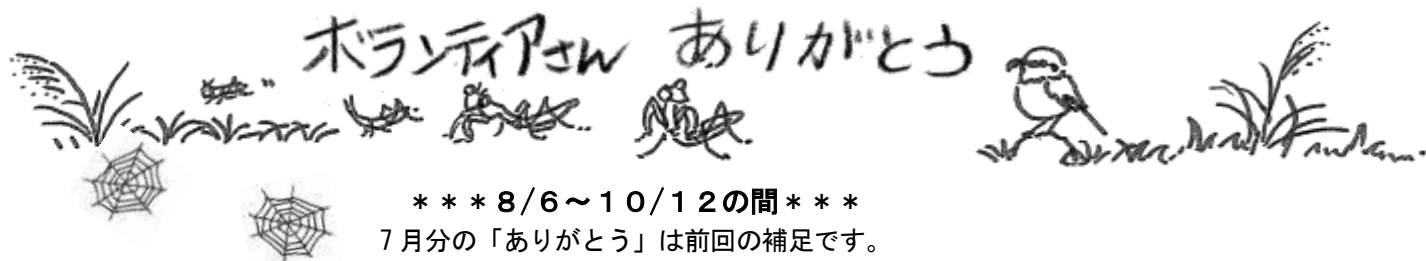
◆期間：10月27日（土）～11月25日（日）
土・日・祝日のみ

◆一時間に1本のペースで運行。

詳細の時刻表は、下記HPまたはセンターにて配布中。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/mamoru/tayou/tsunagari/bus.html>

スタンプラリーとあわせて、お楽しみください！



*** 8/6～10/12の間***

7月分の「ありがとう」は前回の補足です。

- 7/8 カワセミファンクラブ（大浦さん・佐々木さん） 保安全管理計画に伴うヒアリングへのご協力
- 7/15 友の会の皆様 保安全管理計画検討会への参加
- 8/10 事務局内グループ野草プロジェクトのみなさま 園内草刈時の野草確認とロープ囲い協力
- 8/2 自然とあそぼう 保安全管理計画に伴うヒアリングへのご協力
- 8/11 友の会の皆様 保安全管理計画見学会への参加
- 8/11 事務局内グループ 定点カメラ・カエル調査 保安全管理計画に伴うヒアリングへのご協力
- 8/25 プロジェクトAQUA 保安全管理計画に伴うヒアリングへのご協力
- 9/11 プロジェクトSTRIX 保安全管理計画に伴うヒアリングへのご協力
- 9/22 漆原さん いきものを知る守るシリーズサポート
- 9/23 中里さん タヌキの足跡展示作成協力
- 8-9月 秋元さん・漆原さん トランシーバー機材貸出協力
- 8-9月 板垣さん・大浦さん・佐々木さん・平野さん 野鳥及び昆虫写真の提供
- 9月 藤田さん・篠原さん・平野さん 保安全管理計画ヒアリングに伴う追加協力

作成：もり はつえ

横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）

〒247-0013 横浜市長区上郷町 1562-1 TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org <http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

～いきものにぎわいのある森ブログも掲載中～

行事スケジュール 10月～12月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●季節行事●

●定点カメラで動物調査 →5ページ参照 11/10(土)、12/8(土)

対象：写真チェックは一般向け、調査は会員のみ。
雨天の場合、日程を変更する可能性あり。センターに確認のこと。

持ち物：汚れても良い、白っぽい服、動きやすい靴で。タオル、水筒持参。

活動は5月～12月の毎月第2土曜日の午前中、各回の時間など、詳しくは5ページ参照

写真展「森のいきものたち：調査用カメラがとらえた動物たちの姿」は、ボランティア活動拠点「ごろすけ館」で、11月10日まで

担当：事務局内調査グループ「定点カメラで動物調査」

●特別講座「子どもたちと森で遊ぶ方法、教えます」 →5ページ参照

11/17(土) 10:00～13:00ころ

対象：友の会会員

定員：10名程度

申し込み：先着で受付

担当：森の案内人・ハンミョウの会

●森の交流会(望年会) →1ページ参照 12/23(日) 9:30～14:00

集合：ごろすけ館前(スタッフは9時集合)

対象：友の会会員

持ち物：お弁当、お椀、お箸、飲み物、コップ、ビニール袋、軍手

受付：当日、ごろすけ館前で

担当：事務局

■「にぎわいの森を歩くバードウォッチング」

11/11(日) 9:00～13:00

雨天決行(室内でのお話になります)。

対象：どなたでも！初心者歓迎

内容：秋に見られる野鳥を日本野鳥の会神奈川支部リーダーがご案内。初心者・家族ずれでも楽しめます。

申込：なし(当日直接センターへ)

持ち物：お弁当・飲み物・あれば双眼鏡と図鑑(貸し出し可。ただし数に限りがあります。)

担当：自然観察センター

●定例行事●

★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜

～友の会の目的や活動内容の紹介とルールを～

12/16(日) 9:30～12:30

受付：直接、自然観察センターの研修室へ

対象：どなたでも 雨天催行

*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

●季節の森を歩こう(園内の自然案内)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～

11/4(日)・12/2(日)

1回目 11:00～ 2回目 13:00～

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：どなたでも

担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～

12/9(日)

9:00～13:00 雨天中止

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも

担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●森の絵本を楽しもう

～自然をテーマにした絵本づくり～

11/21(水)・12/19(水)

10:00～12:00 絵本製作

受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも

担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～

10/27(土)・11/24(土)・12/16(日)

1回目 13:00～ 2回目 14:00～

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：子どもから大人までどなたでも

担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜(12月を除く)

発行日 2012年10月21日

発行 〒247-0013

横浜市栄区上郷町 1562-1

横浜自然観察の森友の会

電話 045-894-7474 FAX 045-894-8892

郵便振替 00240-1-59172

年会費 大人 2000円 小中学生 600円

http://www.geocities.jp/yms_tomo/

E-mail: yms_jimu@yahoo.co.jp

【この会報は、友の会ボランティアによって作られています】

《全頁無断転載を禁じます》

次回：定例会 11/18(日)、原稿締切 11/24(土)、発送 12/16(日) (発送担当：とりくら)